

(6)スポーツ：スポーツの振興

村が考える住民の皆さまの幸せのかたち

「自身が求める活動機会が用意される」

施策の目的

スポーツ活動をはじめ日頃の活動を支援しつつ、住民ニーズを捉えた、誰もが活躍の機会がある村を目指します。

現状を踏まえた課題

- ・若者のスポーツ離れが進行している中、住民ニーズを捉えた的確なイベントの企画・立案が求められています。
- ・スポーツ協会やスポーツ少年団の自主的な管理運営に向けた取り組みが必要となっています。

▶取り組みの体系

【スポーツ】 スポーツの振興	スポーツイベントの検討・実施
	指導者の育成支援
	地域部活動の検討・実施
	新規会員の計画的な募集

主な取り組み

① スポーツイベントの検討・実施

臨海部に立地する企業従業員も対象として新たなスポーツイベントの企画を検討し、住民と企業の関係性の強化を図ります。

② 指導者の育成支援

スポーツ少年団における指導者の育成を支援します。

③ 地域部活動の検討・実施

学校単位の部活動から地域単位の取り組みへと移行し、学校における働き方改革と生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、地域部活動の検討とともに、その実施に努めます。

④ 新規会員の計画的な募集

スポーツ協会、スポーツ少年団等の活動を助成しつつ、計画的な新規会員の募集を支援します。

計画指標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
① スポーツ教室で実施している種目数 ・令和3(2021)年度の実績(23種目)を令和9(2027)年度には約10%(2種目)増やします。	23種目	25種目
② スポーツ教室に参加している在勤者の割合 ・令和3(2021)年度の実績(6.4%)を令和9(2027)年度には約50%増やすことを目標とします。	6.4%	10%
③ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(スポーツ少年団)資格保有者数 ・令和3(2021)年度の実績(0人)を令和9(2027)年度には20人とすることを目標とします。	0人	20人
④ 地域部活動の検討 ・令和9(2027)年度までに検討し、実施します。	—	実施済
⑤ スポーツ協会の会員数 ・令和3(2021)年度の実績(既存会員583人)から令和9(2027)年度には会員数を650人とすることを目標とします。	既存会員 583人	会員数 650人

住民・行政の協働に向けて

- ▶**行政**：幅広いスポーツ活動を振興するとともに、スポーツイベントの実施・広報に取り組みます。
- ▶**住民**：日常的にスポーツに親しみ、イベントに参加します。